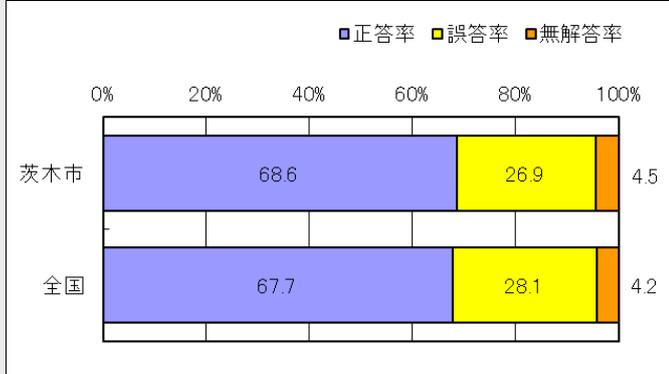


正答率比較

平均正答率は、全国を0.9ポイント上回った

令和6年度 小学校国語 正答率等比較

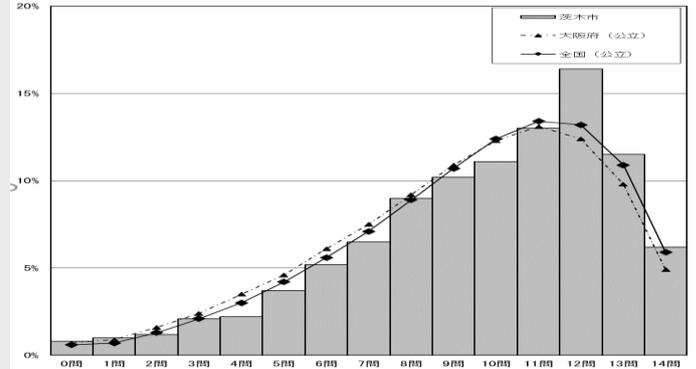


- ◆ 全国の平均正答率が 67.7%であるのに対し、茨木市では 68.6%で、全国を 0.9 ポイント上回った。
- ◆ 誤答率については、全国より 1.2 ポイント低い。
- ◆ 無解答率については、全国より 0.3 ポイント高い。

正答数分布

学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である

令和6年度 小学校国語 正答数分布グラフ

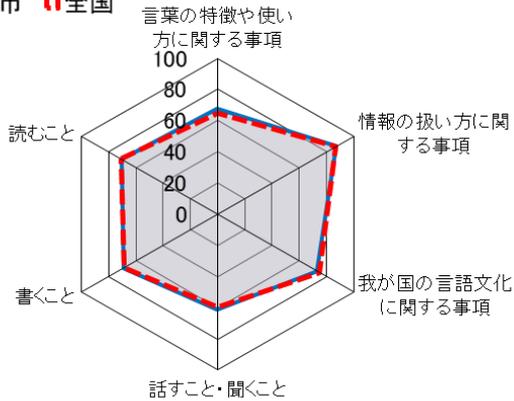


- ◆ 全国は 11 問、茨木市は 12 問正解の児童の割合が最も多い。
- ◆ 正答率 40%以下(0~5問正解)の生徒の割合は 11.0%である。(内 20%以下(0~2問正解)の生徒の割合は 3.0%)
- ◆ 正答率 80%以上(12~14問正解)の生徒の割合は 34.1%である。

領域別

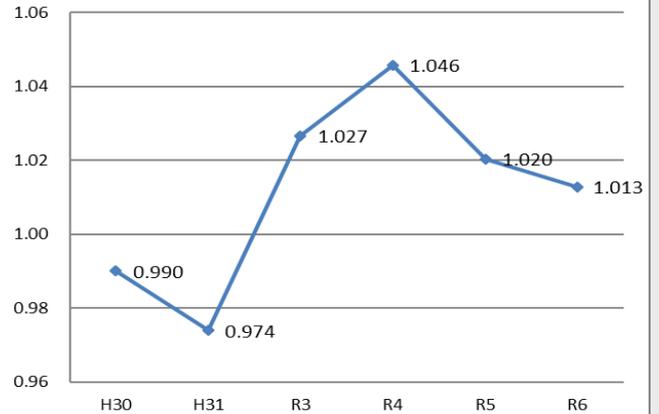
令和6年度 小学校国語 レーダーチャート

■ 茨木市 ■ 全国



正答率経年比較

過去5年の正答率の推移(対全国比)



課題があった設問

○【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く (正答率 69.4%)

3 原さんの学級では、物語を読み、心に残ったところについて説明することにしました。原さんは、「オニグモじいさんの朝ごはん」という題名の物語を選んで読んでいます。次は、原さんが読んだ【物語】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

三 あなたなら、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。
- 【物語】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

例)オニグモじいさんが、ハエの女の子に、自分が食べているのは朝日のひかりだと話したところが心に残りました。その理由は、すなおな女の子をおどろかせず、安全に帰そうとするやさしさが表れているからです。

正答の条件 ※次の条件を満たして解答している。

- ①【物語】を読んで、以下の内容を書いている。 a 心に残ったところ b 心に残った理由
- ②【物語】から言葉や文を取り上げて書いている。
- ③ 60字以上、100字以内で書いている。

本市の解答類型		正答
条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの	69.4	◎
条件①a、②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの	5.5	
条件②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの	7.6	
上記以外の解答	4.3	
無解答	13.2	

【この問題で求められている力】

人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする力

☆比較的長い物語の文章を読み、心に残ったところとその理由を書く設問。問題終盤になると無解答率が全国よりも上回っている。

→教科書の教材だけでなく、多くの物語に出会い、物語の大体をとらえ、感想を伝え合うような活動を意識的に取り入れていくことでこれらの力を伸ばすことができる。

【国語についての今後の指導のポイントとして】

活動の目的、相手、場面、状況等を踏まえつつ、課題を「自分ごと」としてとらえ、それらを念頭に置きながら考える力の育成をめざす。

子どもたちは、日常生活の中で、話す、聞く、書く、読むなどのときは目的意識や相手意識をもっている。

こういった「目的」を授業においても活動の核に位置づけ、子どもたちが「自分ごと」としてとらえることができる課題を設定していくことで、見通しをもって、主体的に活動し、思考力・判断力・表現力を伸ばすことにつながる。

こういった魅力的な言語活動の設定や資質能力を育成する単元計画の好事例を、言語力向上に取り組むモデル校等から各学校へ広げていく。

また、学校図書館教育や、調べ学習等の取組みを引き続き継続・充実していく。